

# 未来へ



おおさわ学園  
三鷹市立第七中学校  
第3学年 進路だより  
No.7 2018.5.31  
校長 勝野 能光  
進路指導主任 木村智佐子

## 受験のパターンを知ろう

真剣にどこの高校に行きたいか考え始め、ポスターを眺めている人も多くなりました。しかし、まだまだ自分がどんなふうに受験するのか、何校ぐらい受けられるのか、受けたほうがいいのか、もし落ちてしまったらどうなるのか等々、具体的なイメージがわからない人もいます。

そこで、一般的な受験パターンを知り、イメージ作りをしていきましょう。

### ◎受験のパターンあれこれ

#### ①都立高校が第一志望の場合

##### ア、都立高校推薦・一般を受検する。

→合格したら、都立高校へ進学する。

→不合格であったら、都立高校一般を受検する。

##### イ、都立高校一般のみを受検する。

→合格したら、都立高校へ進学する。

→不合格であったら、都立高校分割後期・二次募集を受検する。

一般的な受験は「受験」、都立高校の入試は「検査」なので、「受検」と表記します。

↓  
二次も不合格であったら

・三次募集を待つ。

(ただし、昨年度は募集があったが、ない年が多い。)

or・都立定時制二次募集を受ける。

(定時制二次募集の出願・試験・発表は、卒業式後の春休み中。)

or・私立高校や専修学校の二次募集・三次募集を受ける。

##### ウ、都立高校を推薦で受検して、第二志望として私立高校の併願優遇制度を利用して受験する。

→都立推薦が合格したら、私立高校の受験を辞退し、都立高校へ進学する。

→都立推薦が不合格であったら、都立一般を受検し、私立も受験する。

↓  
→都立一般が合格したら、都立高校へ進学する。

都立一般も不合格であったら、合格した私立高校へ進学する。

##### エ、都立高校を一般で受検して(推薦は受けない)、第二志望として私立高校の併願優遇制度を利用して受験する。

→都立一般が合格したら、都立高校へ進学する。

→都立一般が不合格であったら、合格した私立高校へ進学する。

一番多い受験型

##### エ、都立高校を一般で受検して(推薦は受けない)、私立高校をフリーで何校か受験する(併願優遇制度を利用しない)。

→都立が合格したら、都立高校へ進学する。

→都立が不合格であったら、合格した私立高校へ進学する。

→私立高校も都立高校も不合格であったら、都立高校分割後期・二次募集を受検する。

### ②私立高校が第一志望の場合

#### ア、私立高校を推薦(もしくは第1希望加点優遇)で受験する。

→合格したら、その私立高校へ進学する。

→不合格であったら、私立高校一般を受検する。

#### イ、第一志望の私立高校と、併願優遇制度(私立高校併願可の私立高校のみ)を利用して私立高校を受検する。(受験日が違えば可能)

→合格したら、その私立高校へ進学する。

→第一志望が不合格であったら、他の合格した私立高校へ進学する。

#### ウ、優遇制度を利用せず、フリーで私立高校を何校か受験する。(受験日が違えば可能)

→合格した私立高校へ進学する。

#### エ、第一志望の私立高校と、都立高校を受検する。

→私立高校に合格したら、都立高校は受検せず、私立高校へ進学する。

→私立高校が不合格で、都立高校に合格したら、都立高校へ進学する。

※いわゆる「都立を滑り止めにする」というパターン。ただし、都立と私立では入試教科が違うので、初めから都立高校の入試勉強もしておかないと  
ならない。安易に考えないほうがよい。

### 受験の大原則

・推薦もしくは第一志望優遇で合格した高校には、必ず進学する。

・都立高校は合格したら進学する。

・都立高校が不合格であったら、併願優遇制度を利用して合格した私立高校へ進学する。(都立二次・分割後期は受検しない。)

・都立高校の推薦および一次で合格した生徒や、他の私立高校に合格し入学手続きをした生徒は、都立二次・分割後期は受検できない。

さて、自分がどんなパターンで入試に臨むのか、保護者とともにじっくり考えておきましょう。

♥どんな人も、それ自身の未来の建築家である。(ローマの歴史家・サルスティウス)

★進路だよりは必ずその日のうちに保護者に渡し、内容について話し合ったり情報を交換したりした後、家庭で保管してください。